

岩手県国際リニアコライダー推進協議会 設立趣意書

国際リニアコライダーは、地下約 100 メートルに全長 31～50 キロメートルの直線トンネルを掘って建設される超大型の線形加速器で、宇宙創生のビッグバン直後の状態を作り出し、物質の根源や宇宙誕生と進化の謎の解明などに向けた実験を行う、世界に唯一建設される予定の基礎科学の国際研究拠点であります。

現在、国際リニアコライダー (ILC) 計画が推進され、北上高地 (岩手) が候補地の一つとして挙がっています。産学官の連携組織である全国レベルの先端加速器科学技術推進協議会や東北加速器基礎科学研究会で基礎科学の振興や国際リニアコライダーへの理解を深めるとともに、受入れ環境整備に向けた調査等が行なわれてきました。

このような拠点がわが国に建設されることになれば、世界への貢献度が増すばかりでなく、日本の科学技術が飛躍的に進展することが期待されます。

さらに、建設地域においては、基礎科学の発展を担う世界第一線の研究拠点となり、国際学術研究都市が形成され、定住人口・交流人口の増加に対応するインフラ等の都市機能の充実、周辺地域を含めた国際化など地域経済への波及効果が見込まれます。

岩手県では、ILC を東日本大震災からの復興の象徴プロジェクトとして位置付け、国に対して国家プロジェクトとして推進するよう要望をするなど、北上高地への受入れに積極的な姿勢を見せており、昨年 11 月には県庁に専門職員を配置しました。

その実現にあたっては地元の熱意はもちろんのこと、住民の理解と住環境などの適切な受け入れ体制の整備が必要不可欠であります。

こうした状況の中、岩手の経済人が先導して産学官民協力体制を

築き、民間の立場から意識の醸成や受け入れ態勢の充実を図るため、国際リニアコライダー誘致実現に向けた推進組織を立ち上げることと致しました。

つきましては、各位におかれましては本趣旨にご理解賜り「岩手県国際リニアコライダー推進協議会（仮称）」にご賛同、ご入会くださいますようお願い方ご案内申し上げます。

2012年4月吉日

設立発起人

岩手県商工会議所連合会会長	元持 勝利
岩手県商工会連合会会長	千葉 庄悦
岩手県中小企業団体中央会会長	谷村 久興
(社)岩手経済同友会代表幹事	高橋 真裕
(社)岩手県経営者協会会長	佐藤 安紀